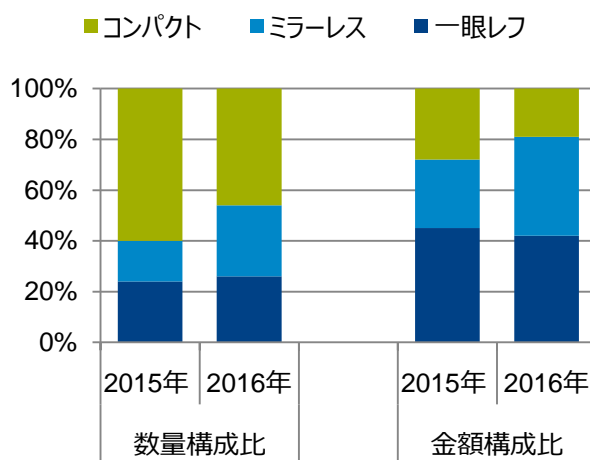


## GfK調べ、2016年グローバルのデジタルカメラ販売動向 ミラーレスカメラの販売伸長により東南アジアでは金額規模が拡大

スマートフォンのカメラ性能が進化する中、2016年のデジタルカメラ市場は厳しい状況が続いた。2016年におけるグローバルのデジタルカメラ販売は数量前年比25%減の3,500万台、金額前年比13%減の153億USドルになったとみられる。

主要マーケットをみると、西ヨーロッパでは数量前年比24%減、北米では同18%減となった。ただし、平均価格の上昇により金額前年比はそれぞれ13%減、7%減にとどまった。アジアについてみると、中国では数量前年比23%減、金額前年比15%減、日本では数量前年比25%減、金額前年比22%減と、同じような縮小傾向となった。こうした中、東南アジア※1は数量前年比では18%減となるも、金額前年比では6%増となった。市場を下支えたのはミラーレスカメラで、コンパクトカメラが数量前年比38%減、一眼レフカメラが同8%減となる中、ミラーレスカメラは同45%増と大きく成長した。東南アジア新興国市場での需要増によるものだが、特にタイでは大幅な伸長を記録した。この結果、東南アジアにおけるミラーレスカメラの構成比は数量ベースで前年の16%から28%へ、金額ベースで27%から39%へ拡大した(図1)。ミラーレスカメラの拡大に加え、平均価格の上昇も金額ベースでの成長要因となった。東南アジアにおける2016年の平均価格は、コンパクトカメラでは前年から12%上昇し209USドル、ミラーレスカメラでは2%上昇の697USD、一眼レフでは6%上昇の808USドルとなった。

図1. 東南アジア デジタルカメラタイプ別構成比



GfKのフォト部門グローバルダイレクターであるヘリバート・ティッペンハウアーは次のようにコメントした。「厳しい状況が続くデジタルカメラ市場であるが、その中でも、スマートフォンで撮影した写真と比べ、明確な付加価値を打ち出せないカテゴリーが大きく影響を受けている。一方で、ハイエンドモデルの需要は安定している。金額規模で市場の1/3を占めるようになった1,000USドル以上のセグメントはほぼ一定の販売推移をみせた。2017年も市場縮小が継続すると見られるが、その下げ幅は販売台数ベースでは10%程度改善すると見込む。」

GfKは2017年2月24日に開催されるCP+2017のグローバルマーケットセミナーで講演を行います。

詳細は以下をご覧ください。

<http://www.gfk.com/jp/insights/event/gfkcpc-2017/>

※1. 東南アジア・・・インドネシア、シンガポール、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム

※本リリースに関するお問い合わせ先

GfK ジャパン  
広報グループ 茶野 絢子  
tel : 03-5350-4623 Email : [info.jp@gfk.com](mailto:info.jp@gfk.com)  
<http://www.gfk.com/jp>